

東京港港湾計画の一部変更（案）について

（概要説明資料）

東京港が抱える課題

1 外貿コンテナふ頭

- ・コンテナ船の大型化が急速に進展し、**大水深の港湾施設が不足**

2 臨海部の交通ネットワーク

- ・第二航路海底トンネルへの交通集中により、**渋滞問題が深刻化**
- ・中防外・新海面地区のコンテナふ頭等の開発に伴い、**更なる交通混雑は必至**

東京港の今後の港湾経営戦略（東京都港湾審議会答申(平成20年7月)）

(基本的方向性)

基幹航路の維持・拡大と企業の物流戦略への対応

(主な内容)

既存ふ頭を含めたコンテナふ頭等の充実・強化

- ・8000個積を超える**国際標準の大型船にも対応した港湾施設の整備**
- ・パナマ運河の拡張後を見据えた**ポスト・パナマックス船への対応**

臨海部全体の交通ネットワークの充実・強化

- ・第二航路海底トンネルへの交通集中を回避する**南北道路軸の強化**

東京港港湾計画の一部変更の主な内容

(1) 港湾の能力

区 分	既定計画	変更計画（伸び率）
全 体	10,900万トン	10,600万トン(0.97)
外貿貨物	5,990万トン	6,130万トン(1.02)
うちコンテナ貨物	5,550万トン 460万TEU	5,690万トン(1.03) 520万TEU(1.13)
内貿貨物	4,910万トン	4,470万トン(0.91)

(2) 外貿コンテナふ頭計画

NO.	外貿コンテナふ頭	岸壁水深	
	大井コンテナふ頭(01～07)	15m	15～16m
	青海コンテナふ頭(A3～A4)	15m	15～16m
	中央防波堤外側コンテナふ頭(Y3)	15～16m	16～16.5m
	新海面処分場コンテナふ頭(Z1)	15～16m	16～16.5m

上記の変更に伴い、航路及び泊地等の計画水深を変更する

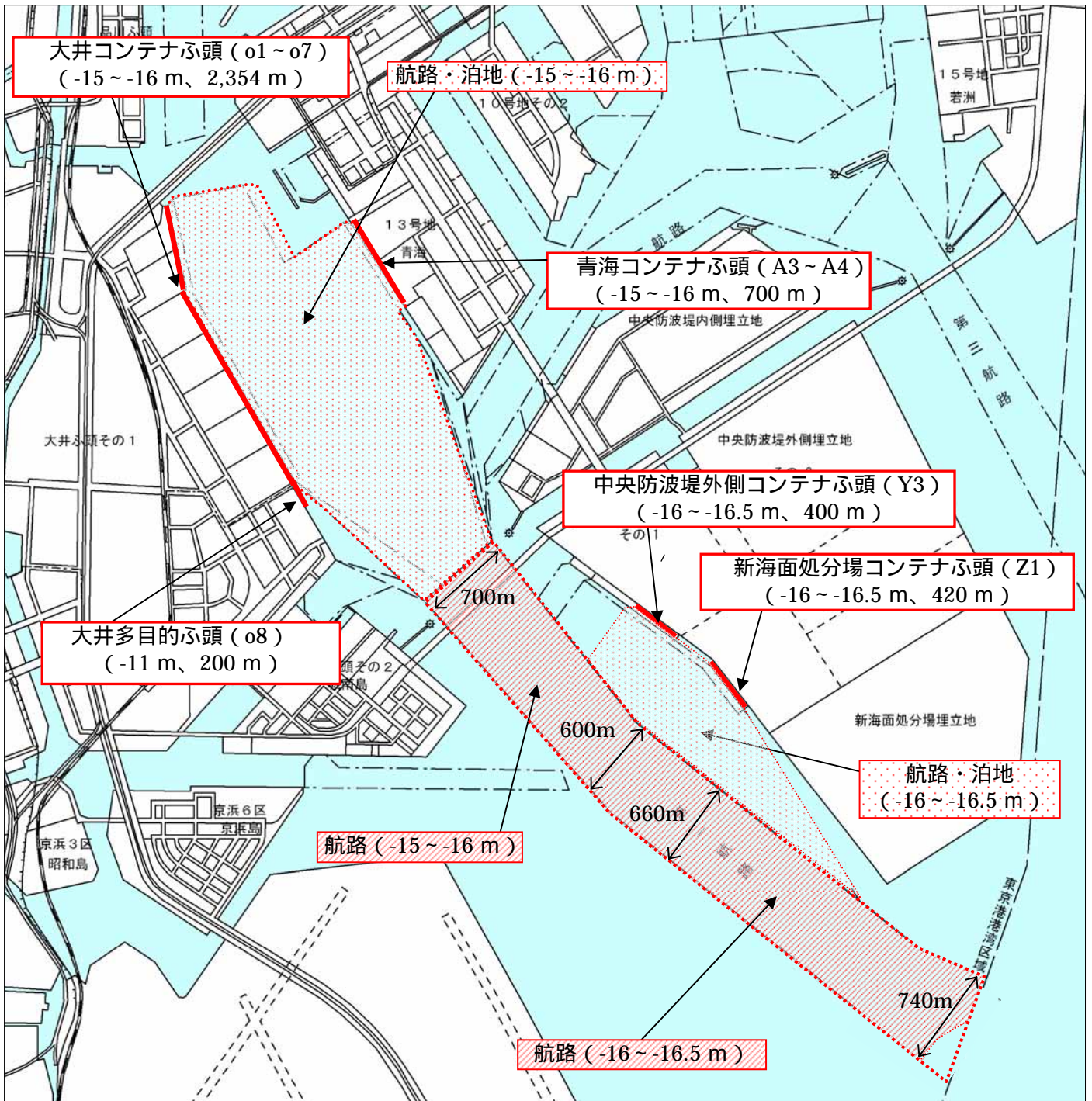
(3) 外内貿ふ頭計画

NO.	外内貿ふ頭	岸壁水深
	大井多目的	11m

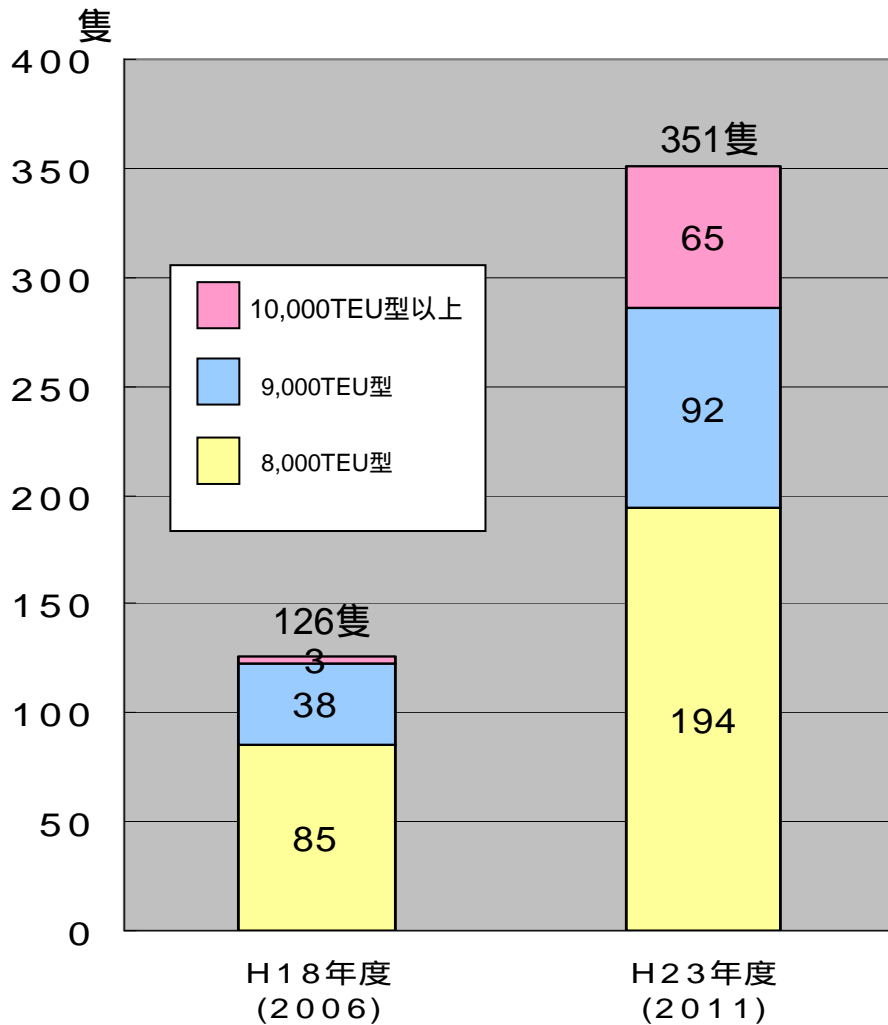
(4) 臨海交通施設計画

NO.	施 設 名	車線数	起 点	終 点
	南 北 線	4	有明ふ頭連絡線 (10号地その2)	中防内5号線 (中央防波堤内側)

水域施設、係留施設計画の概要



超大型コンテナ船の就航見込み



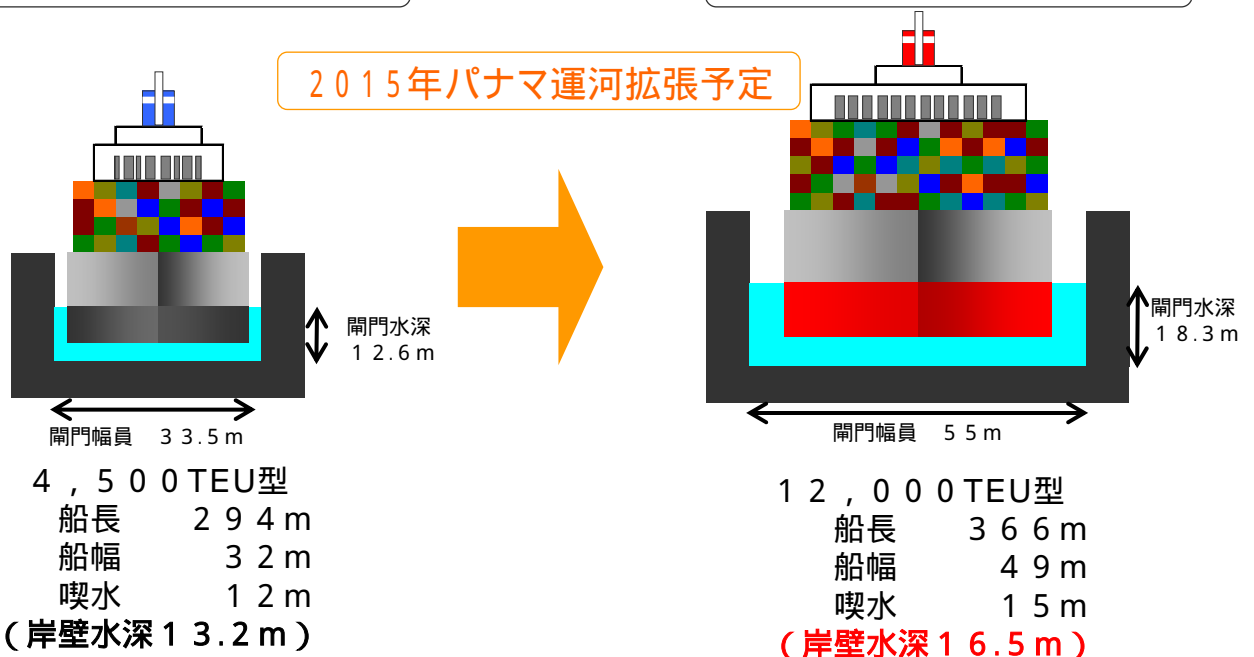
国土交通省資料より作成

パナマ運河拡張による「パナマックス船」の変化

従来のパナマックス船

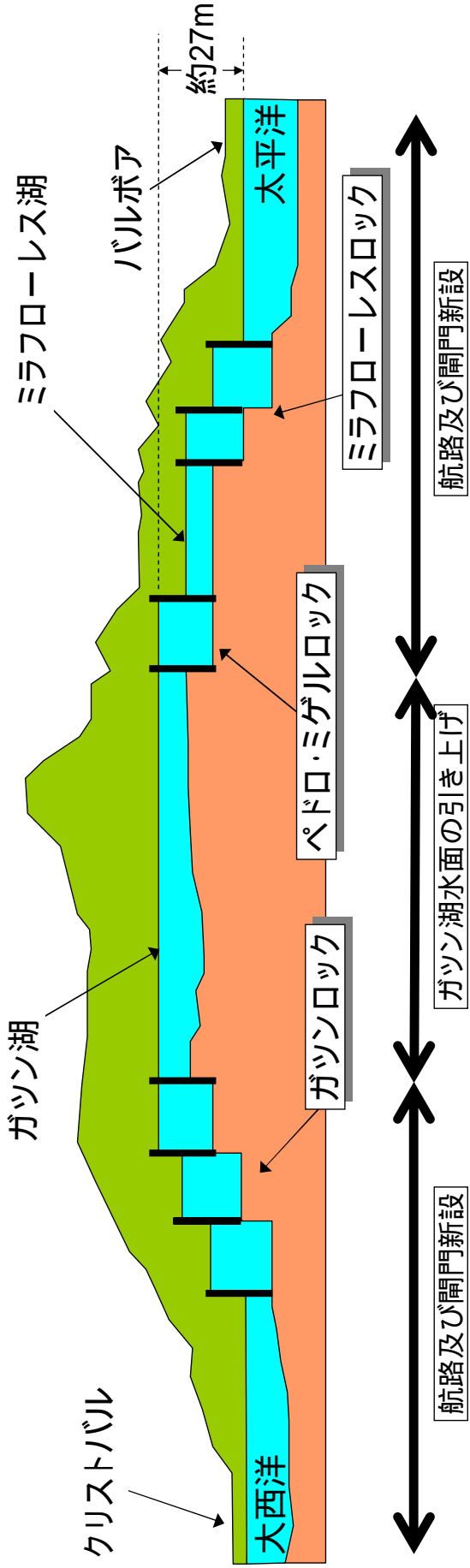
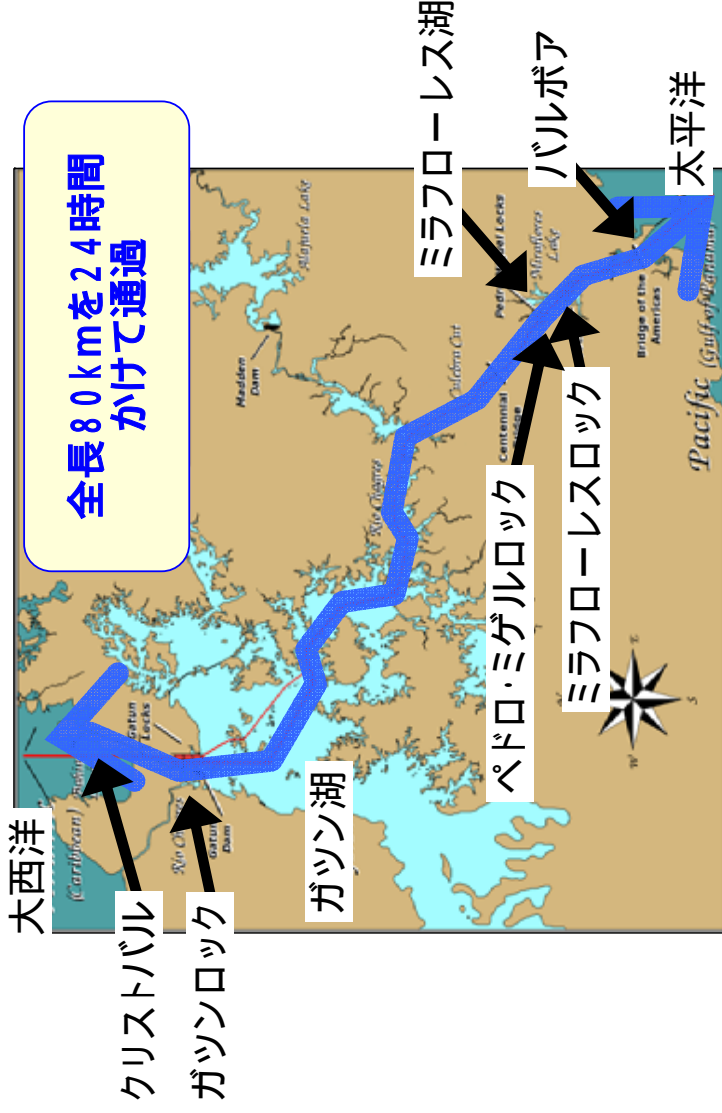
ポスト・パナマックス船

2015年パナマ運河拡張予定



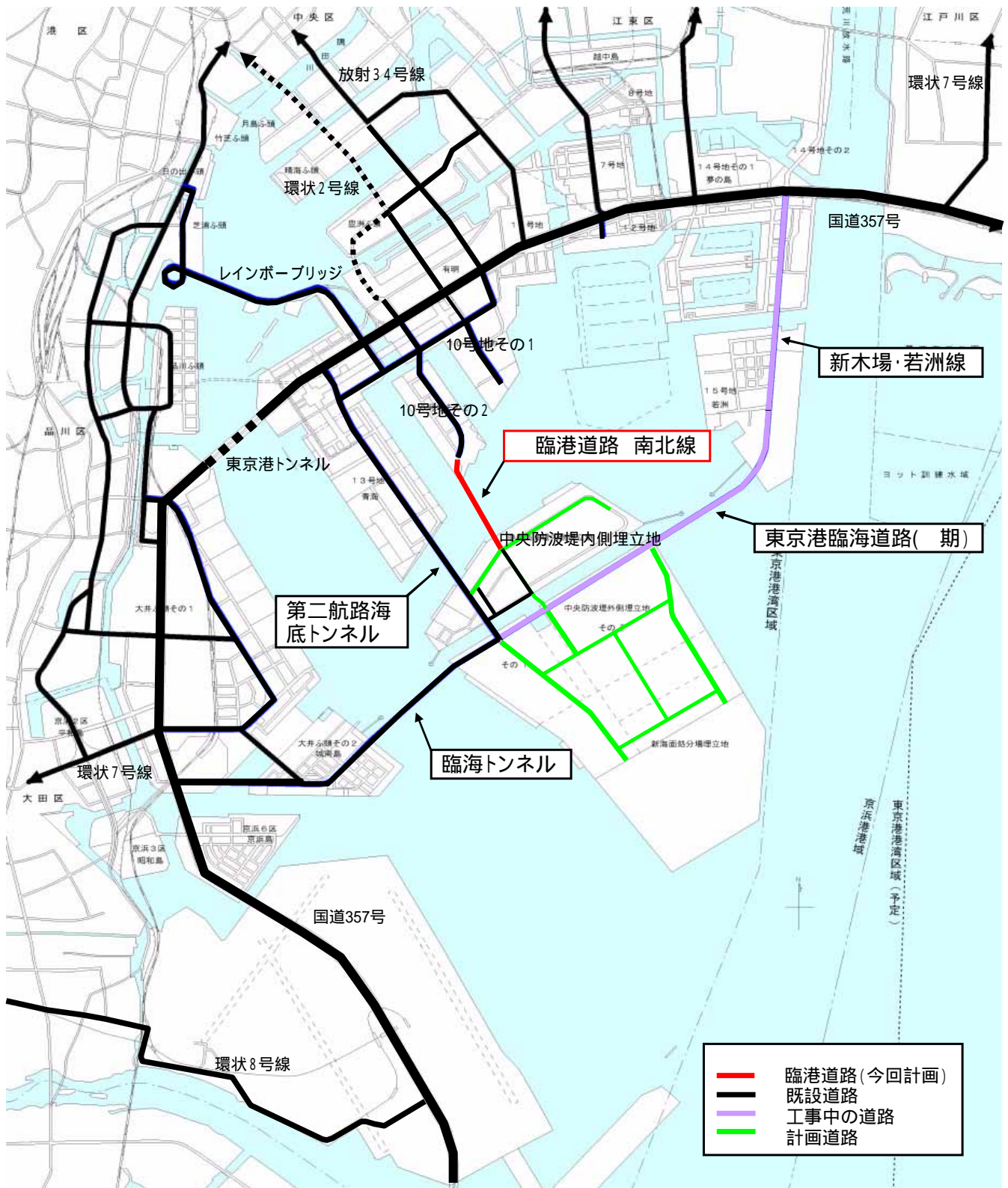
パナマ運河庁資料より作成

パナマ運河拡張計画



航路及び閘門新設 閘門の拡幅 (33.5 m 55 m) ・ 増深 (12.6 m 18.3 m) 航路及び閘門新設

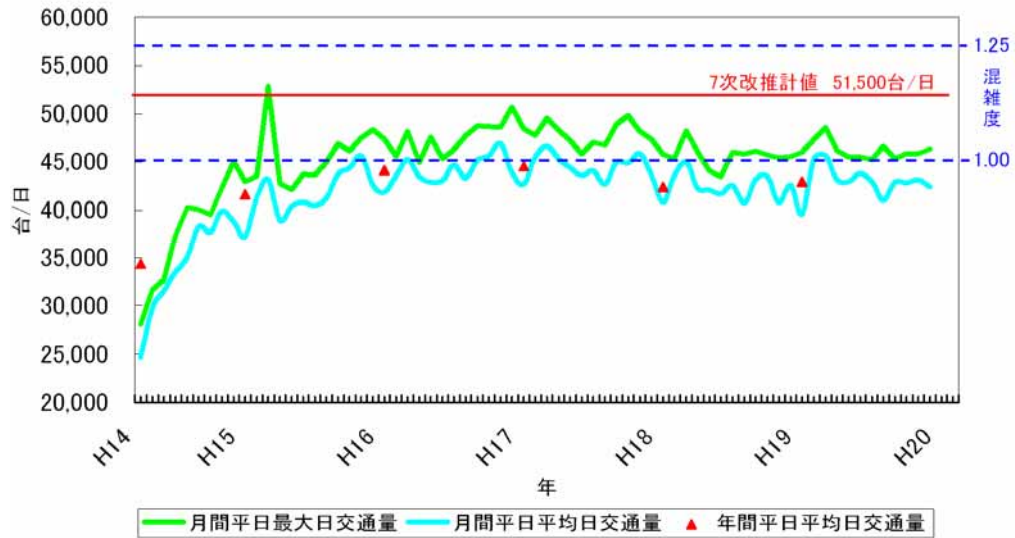
臨港交通施設計画



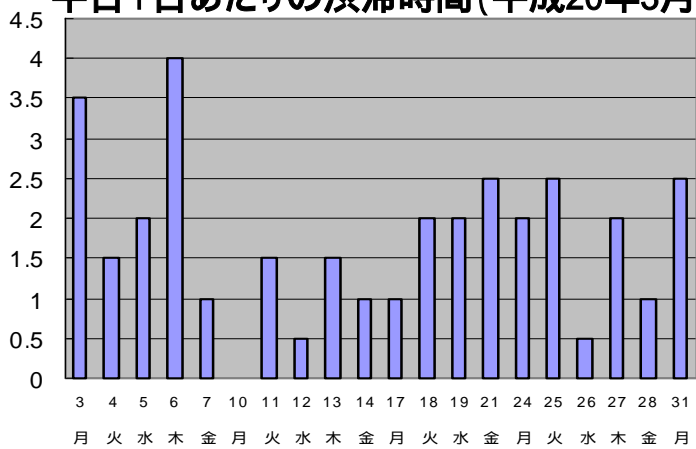
第二航路海底トンネル混雑状況



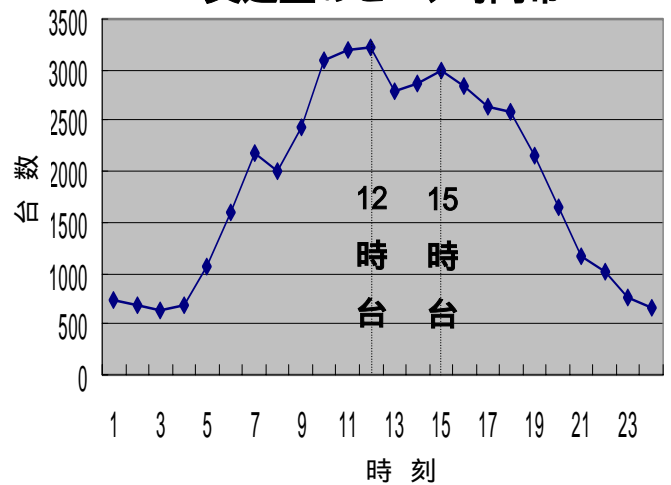
第二航路トンネルの交通量データ（日交通量）



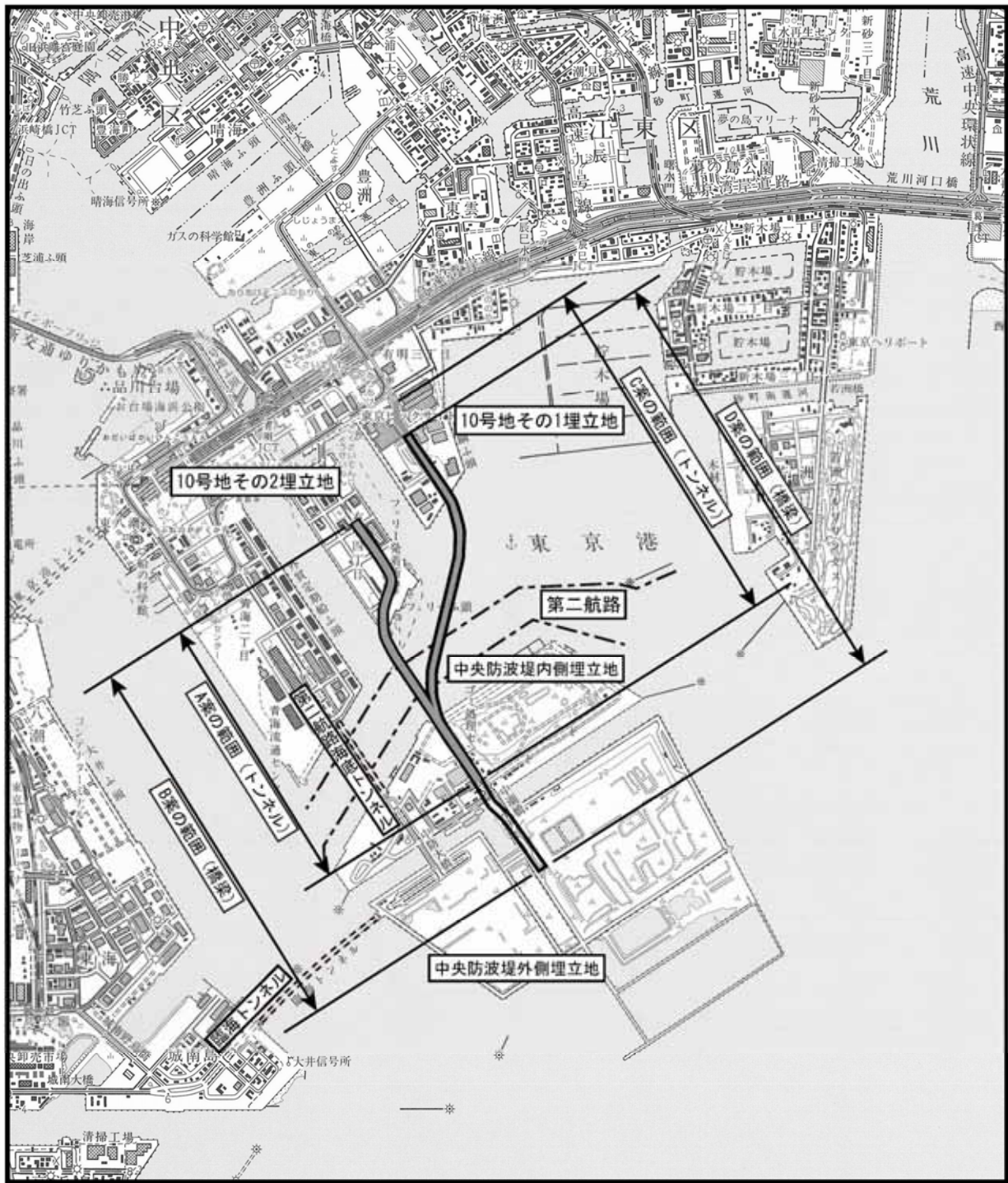
平日1日あたりの渋滞時間(平成20年3月)



交通量のピーク時間帯



臨港道路南北線計画アセスにおける検討案



項目		対象計画の案の概要			
計画道路名称		(仮称)東京港臨港道路南北線			
複数の計画案		[A案]	[B案]	[C案]	[D案]
経路	起点	10号地その2埋立地		10号地その1埋立地	
	終点	中央防波堤内側埋立地	中央防波堤外側埋立地	中央防波堤内側埋立地	中央防波堤外側埋立地
構造		トンネル	橋梁	トンネル	橋梁
延長		約 2.5km	約 3.5km	約 3.5km	約 4.2km
車線数		往復4車線			
備考		第二航路を横断する			